

ほだされ戦士

マルガレット





ほだされ戦士マルガレット





不動の  
マルガレット！



この  
爆碎のゴルダンが  
お前の伝説に  
終止符を打つ男だ！

それは楽しみ



期待させて  
いただきますわよ

なんの騒ぎだ  
これ



おや  
あんた  
おのぼりさん  
かい？  
王都名物の  
決闘さね

でっかい剣持ってるほうは  
見ない顔だね  
地方の腕自慢が  
王都で一旗上げようってか



だがしかし  
相手が悪いね

あの女性ですか？



11.....



盾使い  
マルガレット

王都最強の女冒険者で  
実戦じゃ一度も  
敵の攻撃を後ろに  
抜かせたことが  
ないらしい

ついた呼び名が  
不動のマルガレットさ





たまんねえべ  
この注目度

ここからオラの  
サクセスストーリーが  
始まる予感が  
ピンピンだべさ

にしても  
都会のオナゴは  
やっぱ  
違うべな

今日からオラが  
王都の伝説だべさっ！

見れ  
あの乳に尻

勝てば名声だけでなく  
あれも手に入るとか  
最高でねか



# シールドスタンプ





今回も  
外れでしたわあ

ちょっと雰囲気  
あったから期待  
しましたのに……

一応準備した  
心と身体を  
どうしてくれますの  
まったく

最強の盾使い  
マルガレット！  
ムッチリーニ

ド  
M

お帰りなさいませ  
マルガレット様

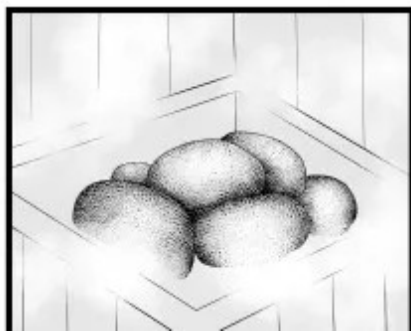
先にお食事  
に  
なさいますか  
それとも後で  
お運びしましょうか

先に湯浴みに  
しますわ  
食事はその後で

かしこまり  
ました

また今日も  
つまらない一日  
でしたわ

本当  
貧弱な男性ばかりの  
世の中のこと





名門  
ムッチリー二家に生まれ  
騎士としての人生を  
歩みながらも  
それを捨てた理由はひとつ

それは  
私を屈服させるほどの  
男性と出会う  
お嫁さんになるという夢

ひ弱な貴族社会では  
そんな理想の相手に  
めぐりあえないと  
市井に降りてきたのに

出会う男性  
だれもかれも  
脆弱軟弱問題外って  
どうということですよ…

そもそも「不動」って  
呼び名自体  
なんなんですよーっ！

わたくしが  
強いのではなく  
周りが弱すぎるん  
ですよーっ！

それをまるで  
化物のように…  
失礼極まりますわーっ！

仮に私が強いとしても  
だからこそ余計に  
闘志を燃やすのが  
男というものでしょう

骨の十本やに十本  
砕かれたぐらいで  
腰が引けるとか  
情けなさすぎですわ

そういう意味に  
おいては……

毎日毎日  
飽きもせず覗いてくる  
ここの主のほうか  
よっぽど根性  
ありますわねえ



ひひひ……  
本当にたまらん  
身体しとる……



ボーン  
ボーン  
バレたら  
命はないが  
その価値はある  
光景だわい

私の耳には  
聞こえてましてよ  
まったく……



上などお酒と料理で  
逗留を決めましたか  
とんだ宿ですこと

本来なら  
問答無用で  
罰を与える  
ところですが……

命を賭けてでも  
という覚悟が  
刺さりましたわ

だから特別に  
気づいてないふりをして  
ご褒美をさしあげて  
ますのよ

他は誰も知らない  
生まれのままの私の身体を  
隅から隅まで堪能できる栄誉

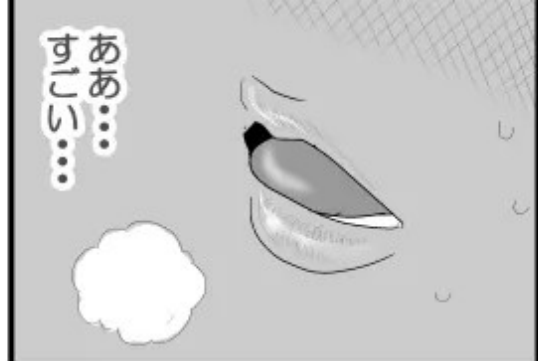


たっぷり味わいなさいな

おっ♡



ホッ



ああ…  
すごい…



いつも男性が  
私に向けてくる全身  
ねぶりつくされる  
ような視線

裸になると  
いつも以上に感じて  
しまいますわ

ニクニク……ッ

なんだか  
クセになって  
しまいそ…



ツルッ



あいたた…  
私とした  
ことが……

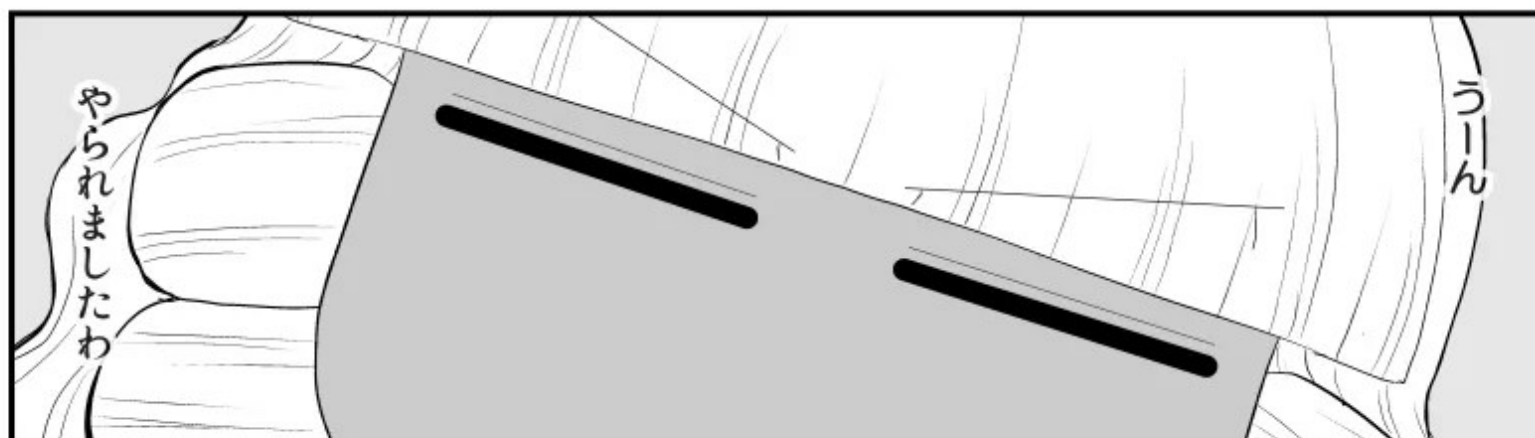
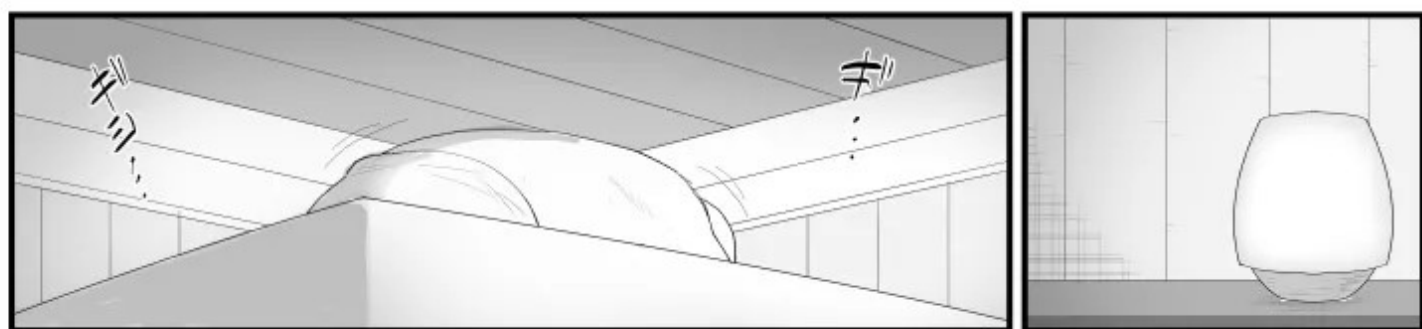


うにっ！

ビッ  
ホッ  
ッ







まさかお酒に  
一服盛られるとは

毒ではないようですが  
身体が自由が  
まったく効きませんわね  
…不覚でしたわ

むふう…  
よく寝ておる

ただの  
睡眠薬ですので  
心配ありませんぞ  
マルガレット様  
いい夢見て  
くだされ

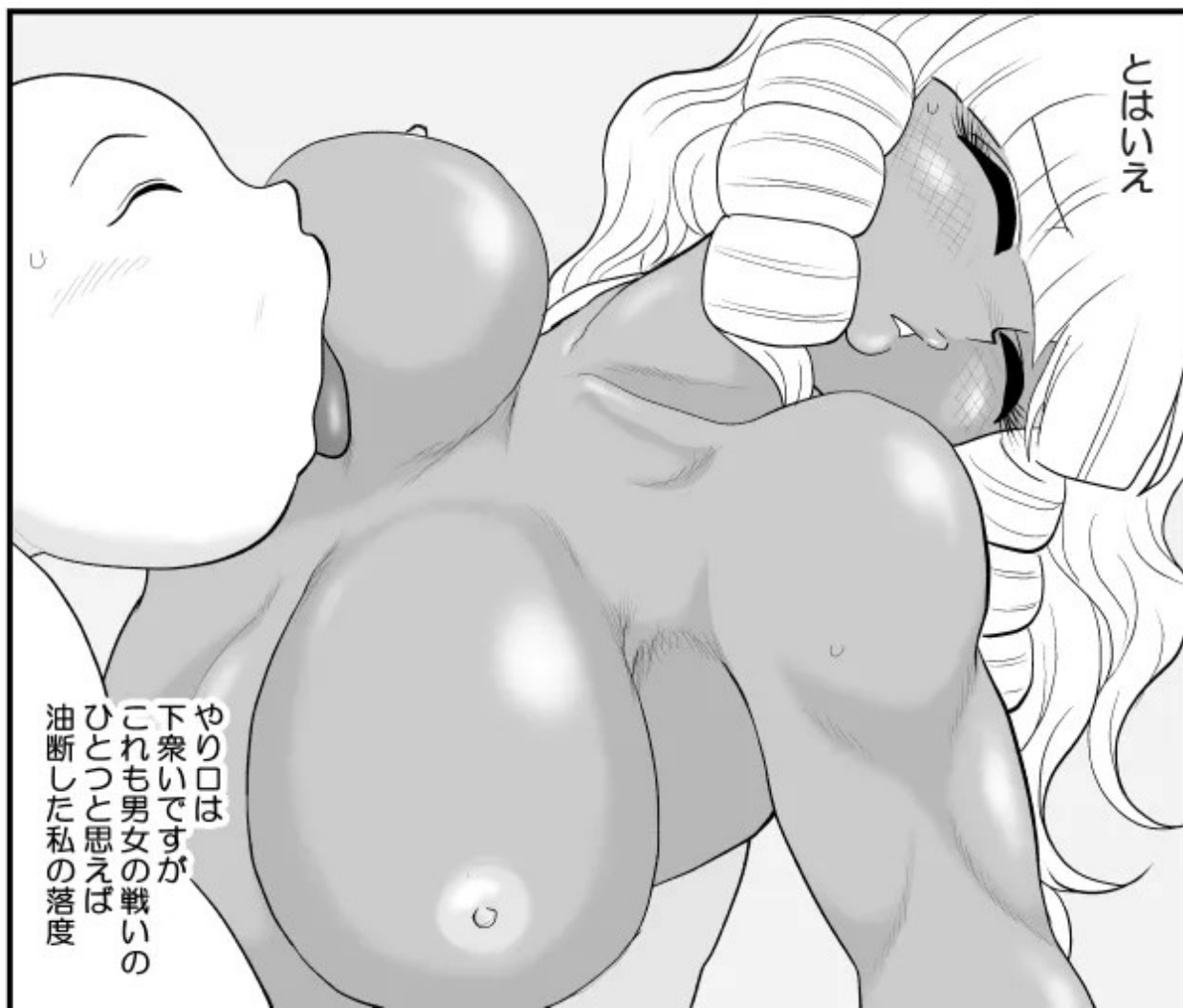
どうやら命までは  
とられない  
ようですわね

だから安心  
というわけでも  
ないですが

それにしても…

だぶん

あ



はあ……しかし  
初めて  
触れられる男性が  
宿屋の中年男とは  
さすがに予想外  
でしたわ

いくらなんでも  
理想の旦那様には  
ほど遠いですわねえ



自戒も兼ねて  
少々好きにさせて  
あげますわ

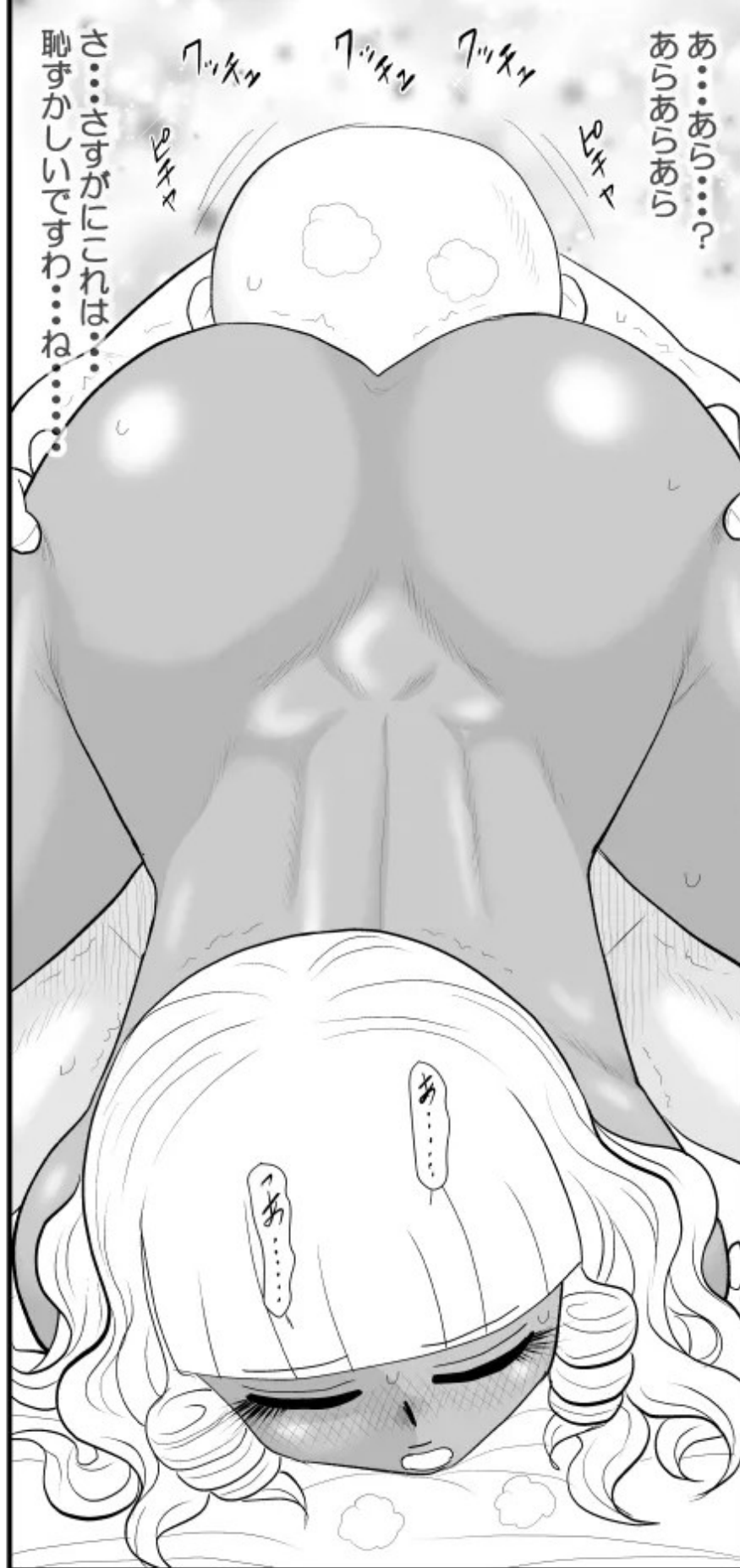


キリッ...

おお...たまらん  
この肉厚な尻

ぽろり

ぽろり





嘘でしょう



信じられ……

っ



こ…これが  
普通なんです…の？  
こんなみだらな格好……

まるで獣の行為じゃ  
ありませんか…  
あ…ああ……





マママルガレット様  
起きてらしたの？

これでも  
鍛えてますから  
薬物等には  
多少の免疫が  
ありましてよ

とはいえ  
十全に身体が  
動かせないのは  
事実ですから  
言葉だけ

ここで  
やめておけば  
なかったことにして  
さしあげますわ

でないとなんか  
しかるべき報いを  
与えなければ  
ならなくなります

一時の迷いで残りの人生  
棒に振りたくないでしょう

……っ

ん……？  
逆にここまでは  
見逃して  
いただけると？

まあ私の油断も  
ありましたし

マルガレット様……

誰にでも  
出来心というのは  
ありますわ  
互いに大人ですから  
忘れてさしあげましてよ

マルガレット様！

ひゃっ！

ガッ

わしのような男に  
なんたる慈愛か！

ハァ  
ハァ  
ですが  
そのようなことを  
言われたらかえって  
止まりませぬ  
お許しください！

あ……あらあらあら

なななんだか  
藪蛇になって  
しまいましたか？

落ち着き  
なさい！

うわー

何度も申しますが  
貴族に手を出したら  
ただでは済まない  
のですよ

むろん  
承知しております

ですが平民であるわしが  
貴方のような美と抱擁の  
女神のごとき方と  
触れ合うことなど生涯  
ありえぬ機会

そのためなら  
すべてを失ってもいいと  
思ってしまう愚かさを  
笑ってください

ニレ  
ニレ

モリ  
モリ

あ……あら……  
女神など……

やですわ  
もう……

どうしましよ...  
このように直接的な  
行動は初めて...  
なんだかお腹の下が  
キュンキュン  
いたしますわ...

これが  
女の疼きという  
やつですの...??

私の全てを貴方に  
捧げましてよ

...ちやうどにせよ  
ここまで言われた  
以上私も本気で  
答えるのが筋と  
いうものですわよね

...よろしい  
ですわ

そこまで覚悟を  
決めているのなら  
私も腹を  
括りましてよ

勝負しましよ

貴方の  
その情熱が  
私の心の守りを  
崩せなければ  
貴方の負け

もし  
崩せたのなら...

しゅ...  
しゅ...  
しゅ...

屈服させて  
ごらんない







お……お……  
た……たまらん  
この締め……っ

ギッ  
シ

ズッキ  
ズッキ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ

ギッ  
シ

ほ……本当に  
よろしかったのですか……  
わしごときが  
貴方様の処女を  
奪ってしまいましたぞ……っ

べ……っ……  
構いません……わ

元々決闘でも  
この身を賭けて  
ましたし……  
いつでも覚悟は  
できてまし……た

というか  
このままだと  
老婆になるまで  
処女では？という  
危機感のほうが  
むしろ強まって  
ましたし

平民でありながら  
命がけで私に挑む  
貴方の心意気に  
対する贈り物  
ですわ

マルガレット様っ

ぶちゅっ

あ……ん……  
あ……ん……

キス……は  
駄目ですわ……

ずん





らめれす...の〜





女になって  
しまいましたわ……

やですわ……  
今頃になって  
恥ずかしさが……

別段後悔は  
しておりませんが  
さすがに  
ほだされすぎ  
ましたかしら……  
ろくに  
知りもしない男性と  
あんなことを……

ぐにゅん

あっ

おはようございます  
マルガレット様

お……おはよう  
ございます……  
あ……あのですね  
昨夜は私……

ん……む……  
ん……

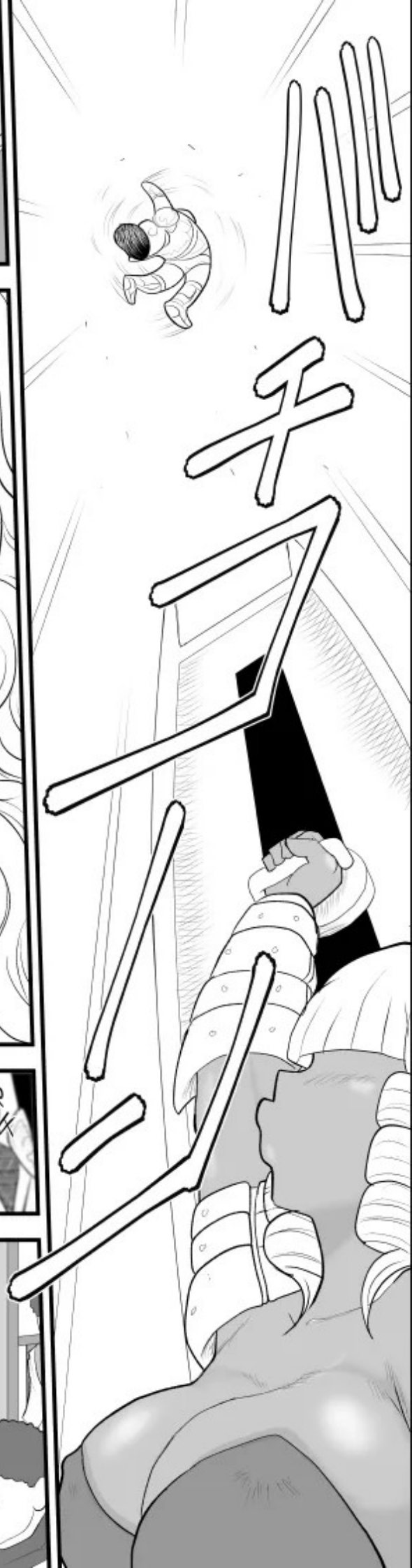
ムキ  
モウ

うおおおおっ！  
我こそが鉄拳の

飛んだよ  
人が

倒せたら  
モノにできるとか  
いってるけど

誰にも  
どうこう  
できないだろ  
あんなの







お...外で  
だなん...て  
ありえません  
.....わ

誰も想像だに  
しとらんでしょやな

ズッキン  
ズッキン

ハシ  
ハシ

ハシ  
ハシ

ついさっきまで  
屈強な男を  
叩きのめしていた  
「不動」様が

路地裏で  
貧相な宿屋の主に  
貫かれ  
喘いでいるなどと

ガッ

ゴルッ

グルッ...



それを  
味わいたいがために  
こんなことを……？  
趣味の悪い人ですわ

でも  
マルガレット様も  
興奮してらっしゃる  
そうでしょうか？

自分を  
這いつくばらせ  
屈服させる男を  
求めている

ご自身で  
そうおっしゃったでは  
ありませんか

ほら

ほら！

んんんんん





だからといって  
貴方に屈するとは  
言ってませんことよ

シッパン  
シッパン

跪いてチ○ポ  
握りながら  
言われましてもねえ

いつもいつも  
責められてばかりでは  
勝負になりませんもの

さあ  
どうすれば  
いいのですの？

これは  
私のターン

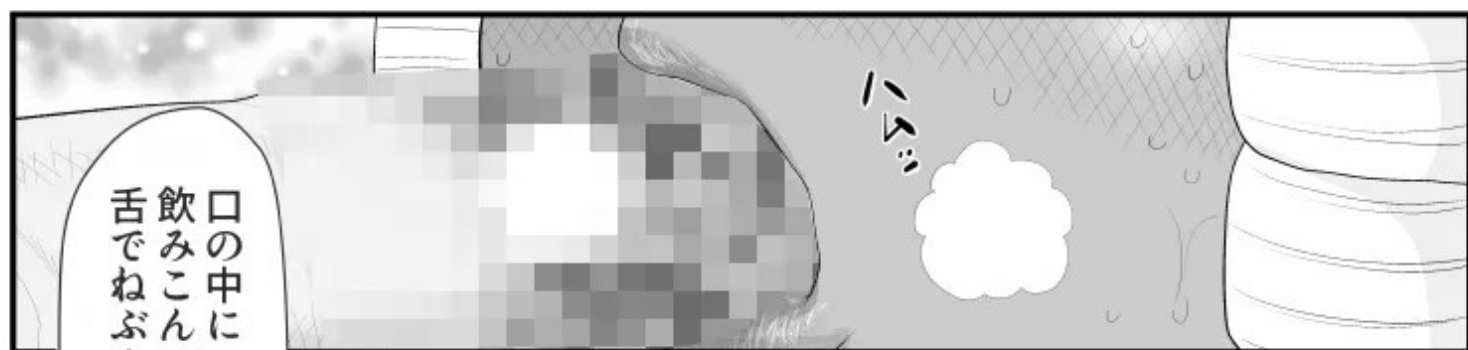
の練習ですわ

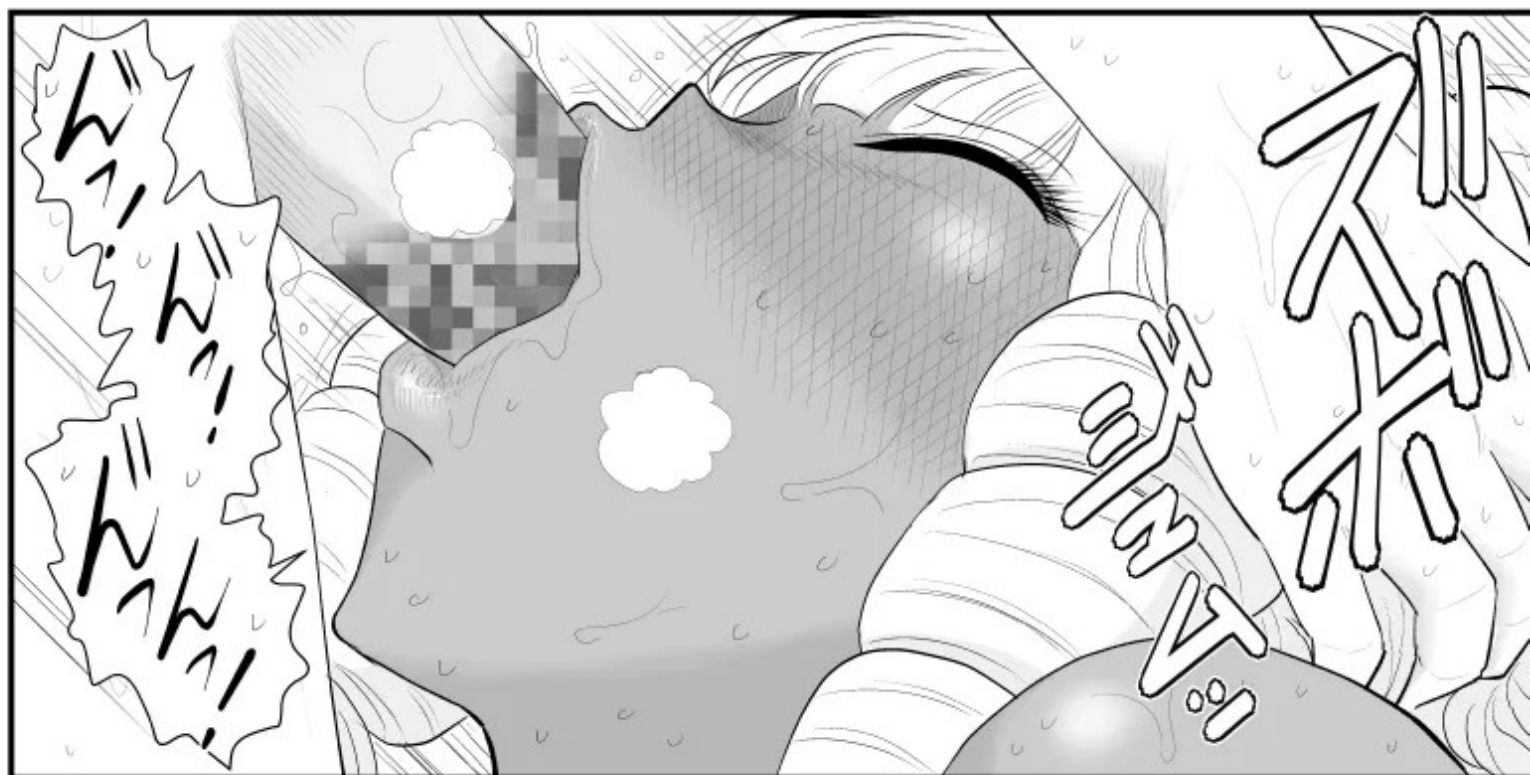
では  
舌を出しながら  
口を開けて  
くだされ

ハハハ...

ふおう  
れふは？









ケホッ  
ひ...ひどいですわ...  
私のターンと  
申しましたのに.....

すみません  
でも正直  
こっちのほうが興奮  
なされたでしょう？

真正のマゾである  
マルガレット様には



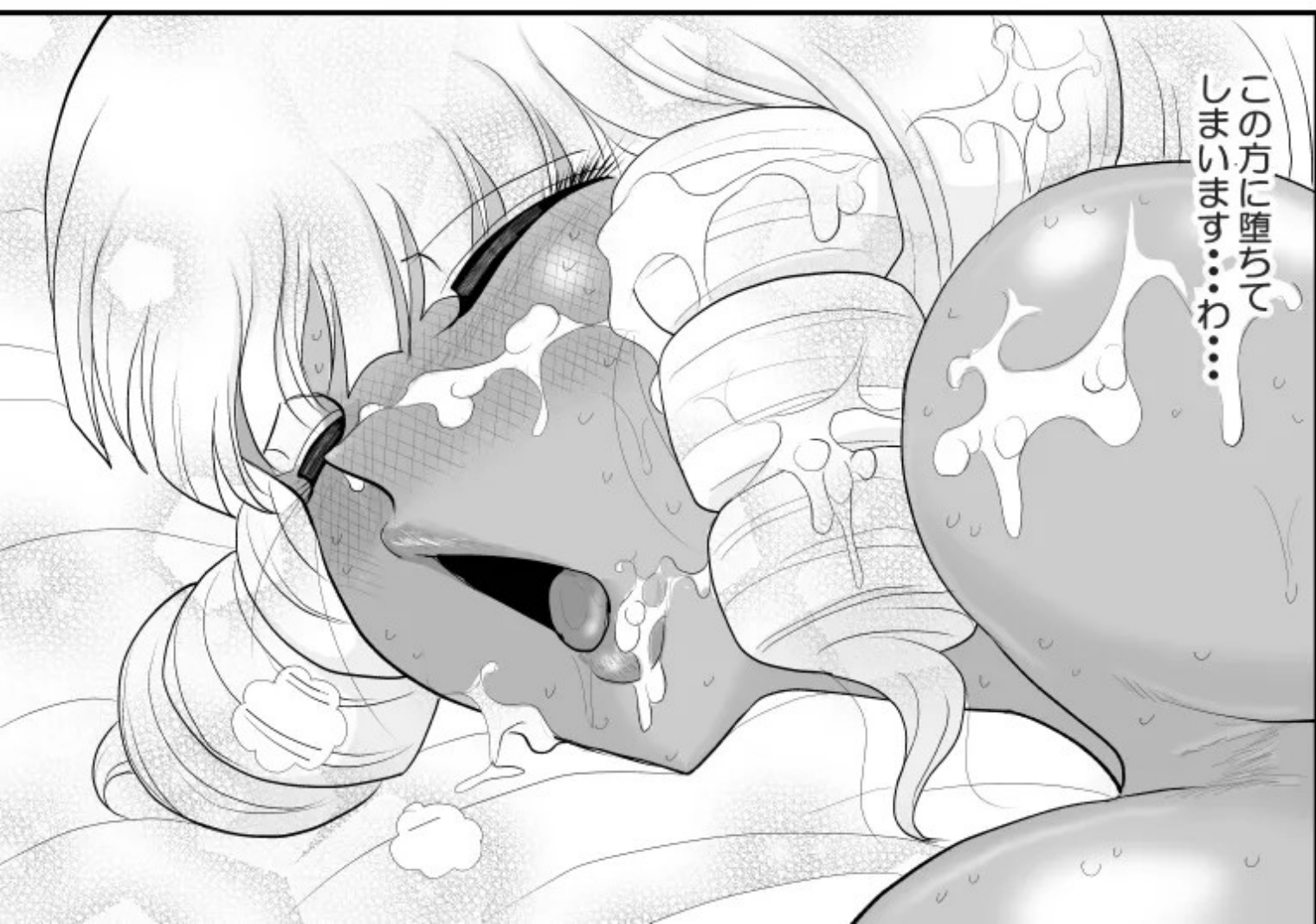




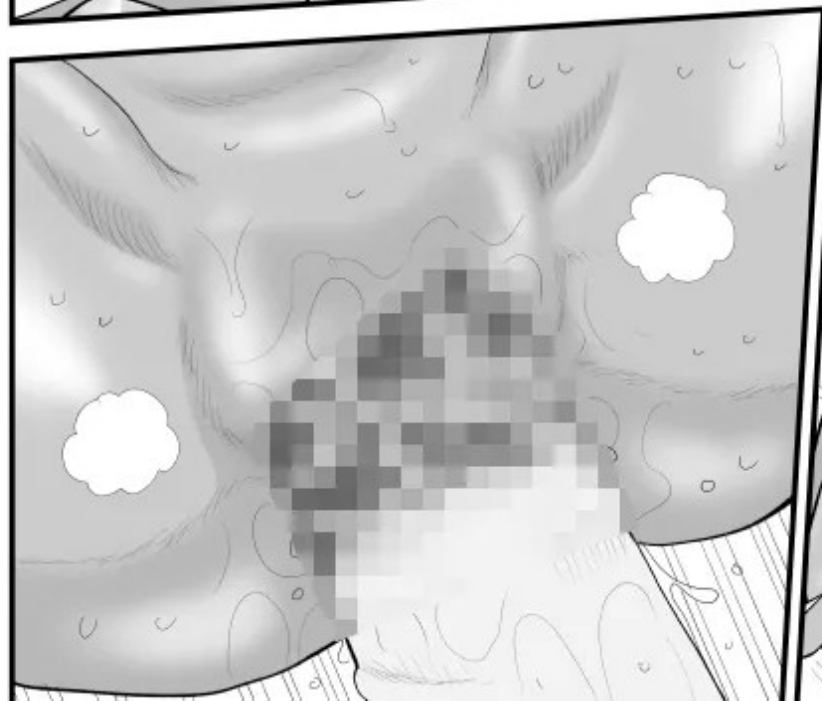
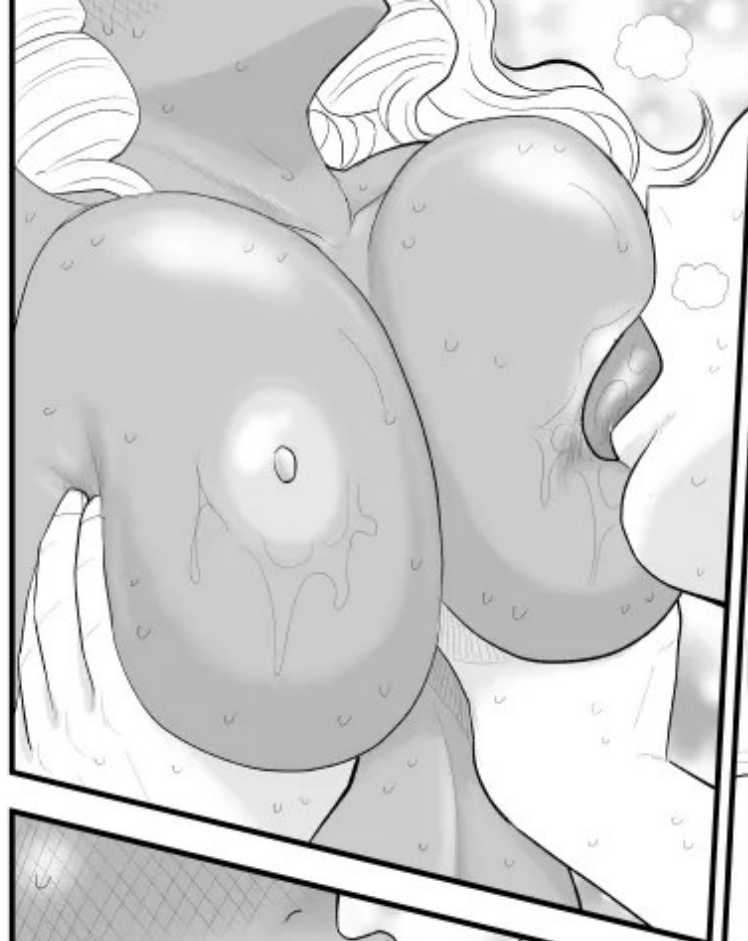
い……  
いけません……わ

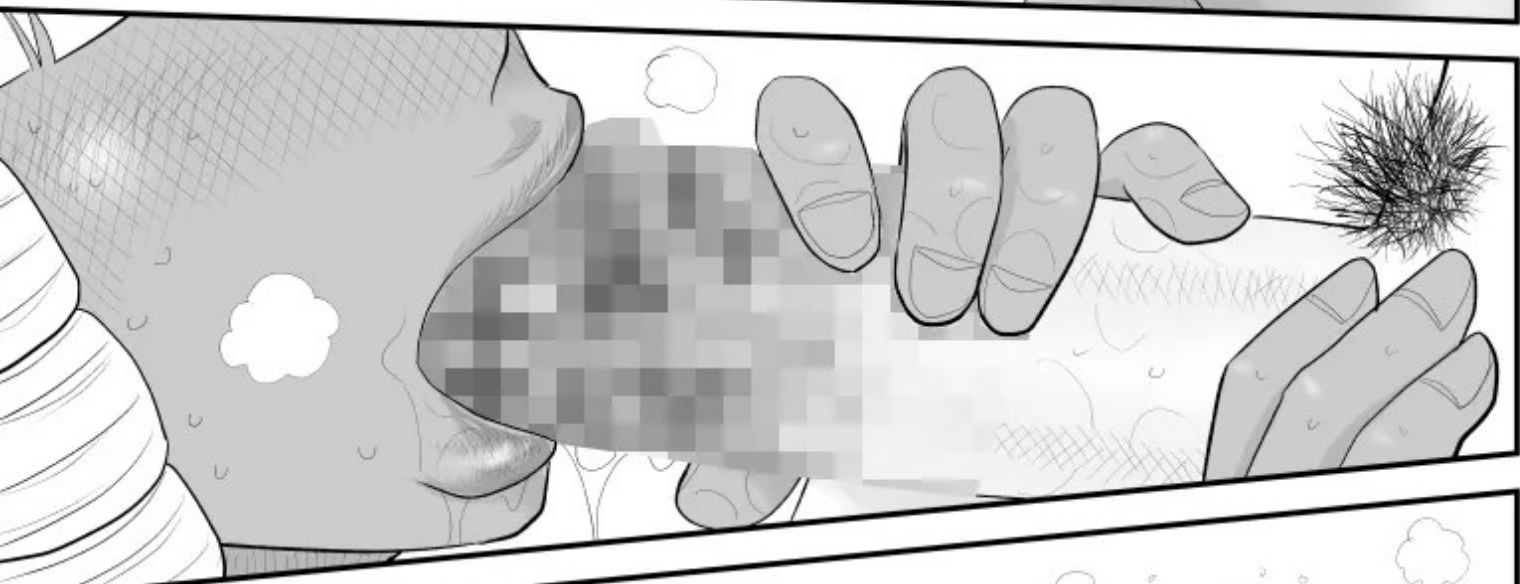
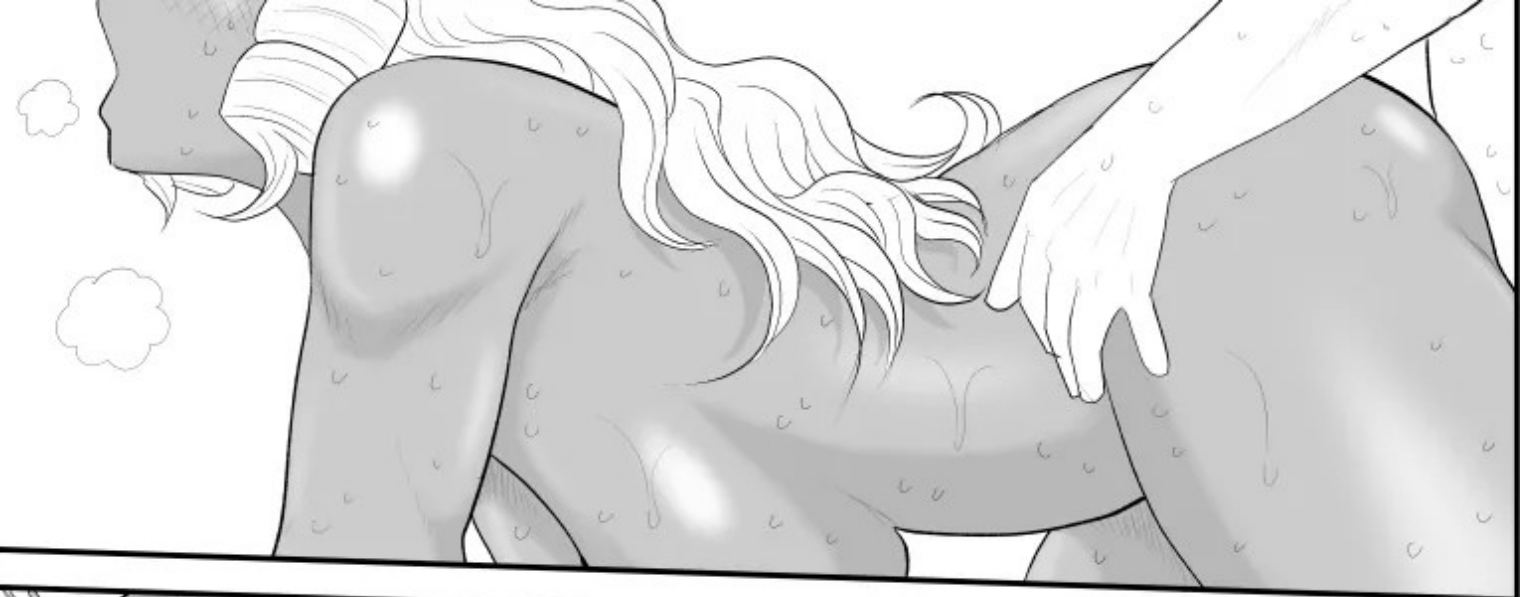
一回一回  
抱かれることに  
心まで染められて  
いってるのがわかる

このままだと  
私本当に……



この方に落ちて  
しまいます……わ……





鬼槍のゴンベ推参!  
いざ不動に挑戦!

……って

どこにあるん  
じゃーいっつ!

確かに不動  
ここ最近姿を  
見せないな

案外誰かに  
やられてたり  
して

なわけあるか

あの無敵女が  
どっかの男に  
屈してる光景なんて  
想像もつかないよ



よいのかな？  
決闘  
すっぱかして

ん……  
別段予約している  
わけでも  
ありませんし……

確かに

それに  
ここ数日お外に  
出られなかったのは  
貴方が原因でしょう？

お前の  
スケベな身体に  
すっぱかり  
のめりこんで  
しまったからなあ

誰がスケベですか  
.....ふあ.....

わしを嘘つき  
呼ばわりか？

さんざん  
はしたない姿を  
晒したくせに

罰だ  
いつも以上に  
濃厚な奉仕せい

ふあい...

お...お...  
おお...

おお...っほ...

リッ  
リッ  
リッ  
リッ  
リッ

リッ  
リッ  
リッ

リッ  
リッ  
リッ  
リッ  
リッ



貴族のお嬢様に  
玉から尻穴まで  
責めさせる  
この優越感よ

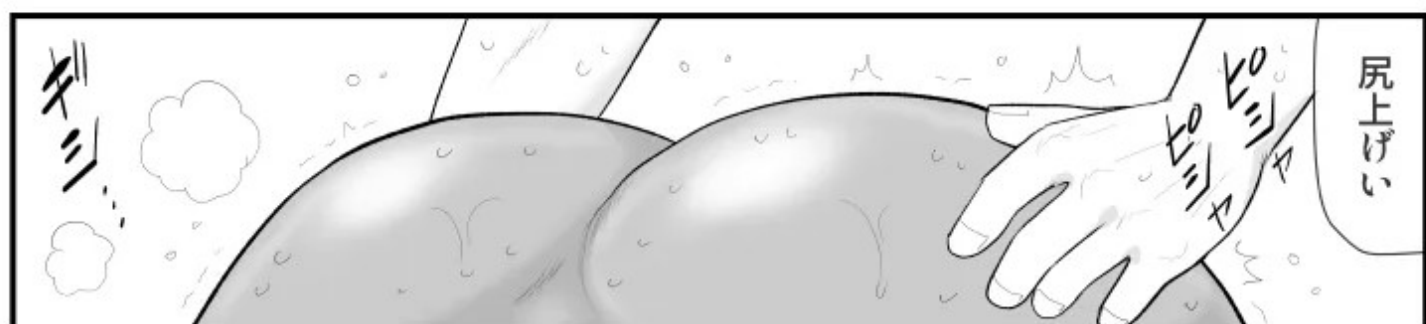
なんてことを  
考えてるん  
でしょうねえ

でも  
そんな下世話な  
思考をする相手に  
奉仕し  
興奮しているのが  
私

無礼な  
言葉使いすら  
心地よく感じて  
しまいますわ

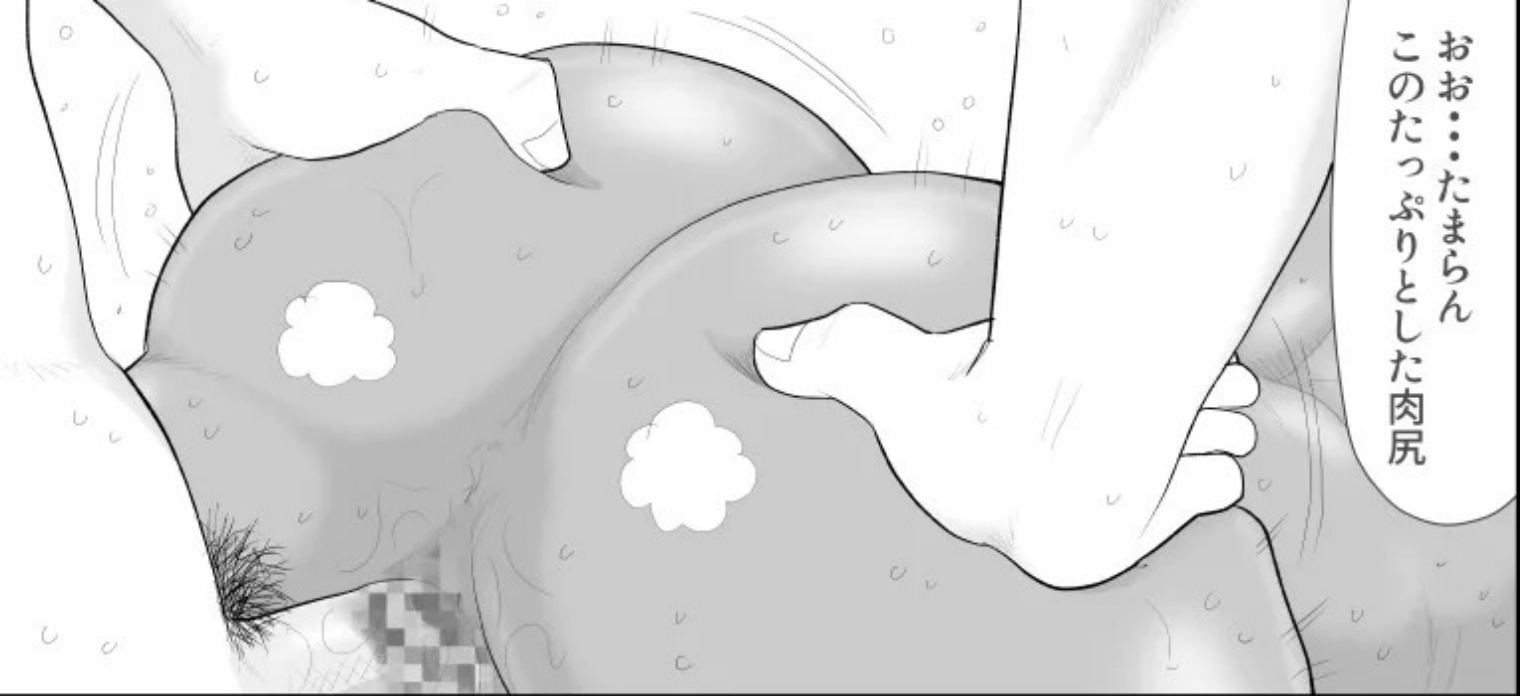








おお・・・たまらん  
このたっぷりとした肉尻



手に  
おさまりきれん豊乳



もう誰にも渡さんぞ  
マルガレット



お前は永劫に  
わしの女だ

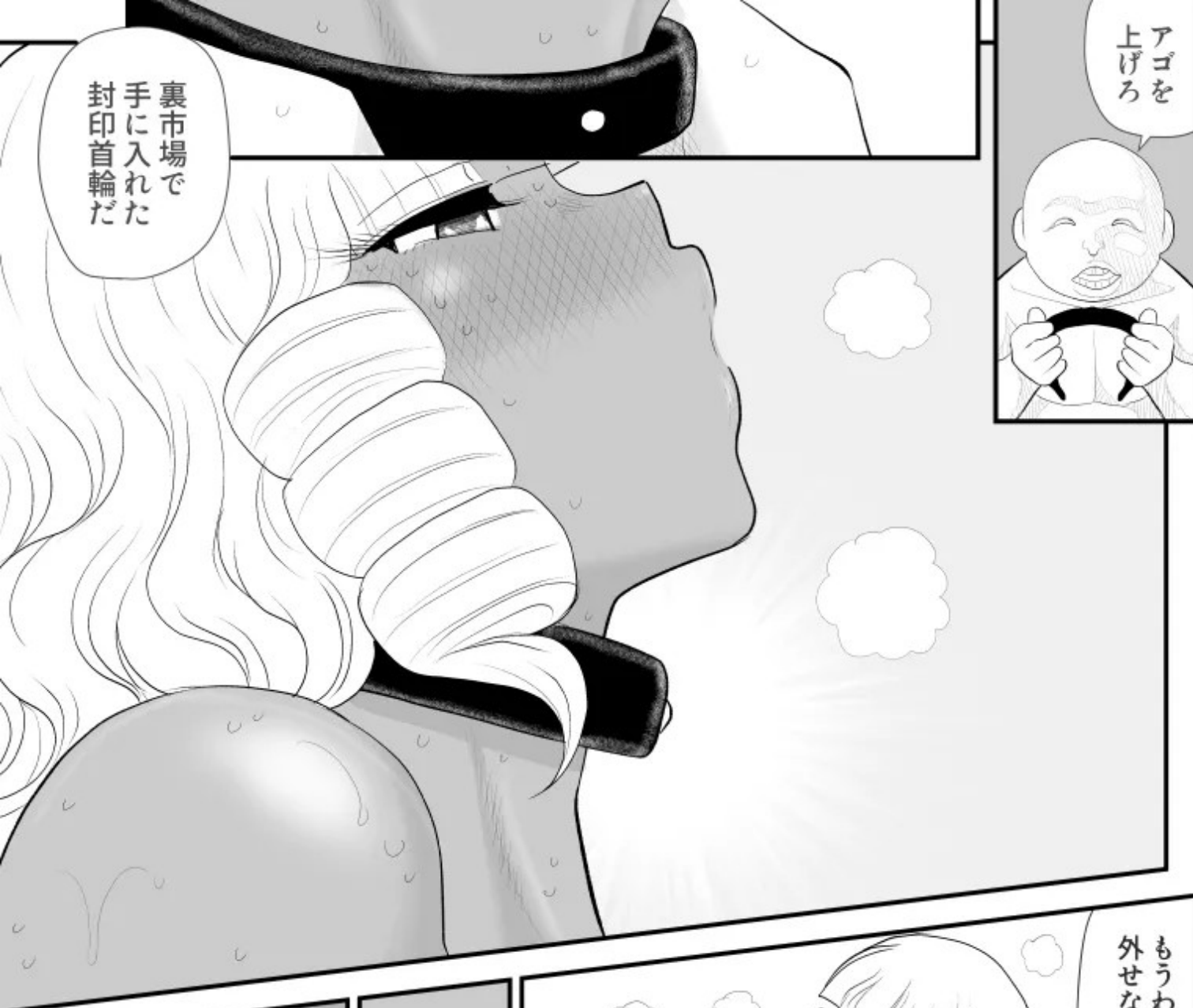




アゴを  
上げろ



裏市場で  
手に入れた  
封印首輪だ



もうわしにしか  
外せない

つまりこれで  
わしから離れることは  
不可能になったというわけだ

妻として  
たっぷり可愛がって  
やるぞ……ヒヒッ

まったく……

この程度のアイテムで  
私が縛られるわけ  
ないでしょう

それに気づかず  
得意気な顔をして  
……



可愛らしいと思ったら  
ありませんわ

承知いたしましたわ  
旦那様

末永く愛して  
くださいまし

ズンッ

ズンッ

ズンッ  
ズンッ  
ズンッ

ズンッ  
ズンッ



ああ……素敵……

身も心も征服される悦び

これこそ  
私の求めた幸せですわ

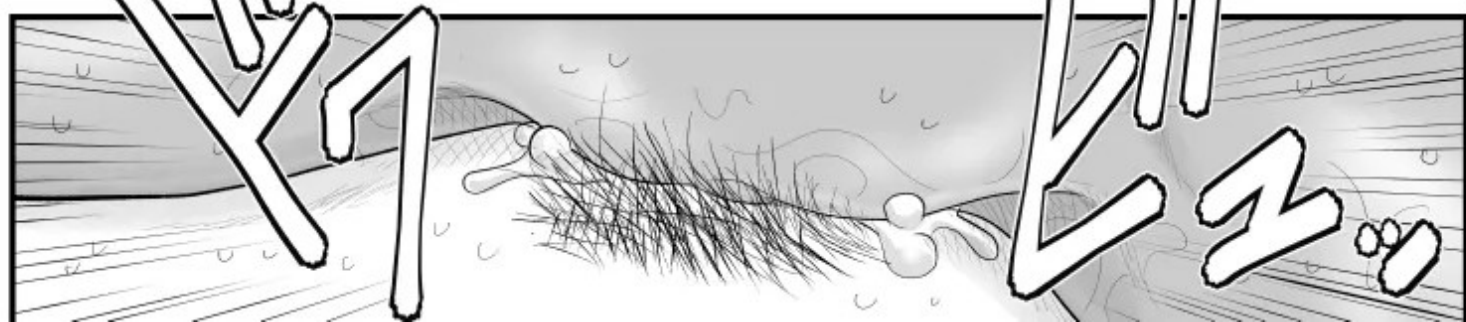






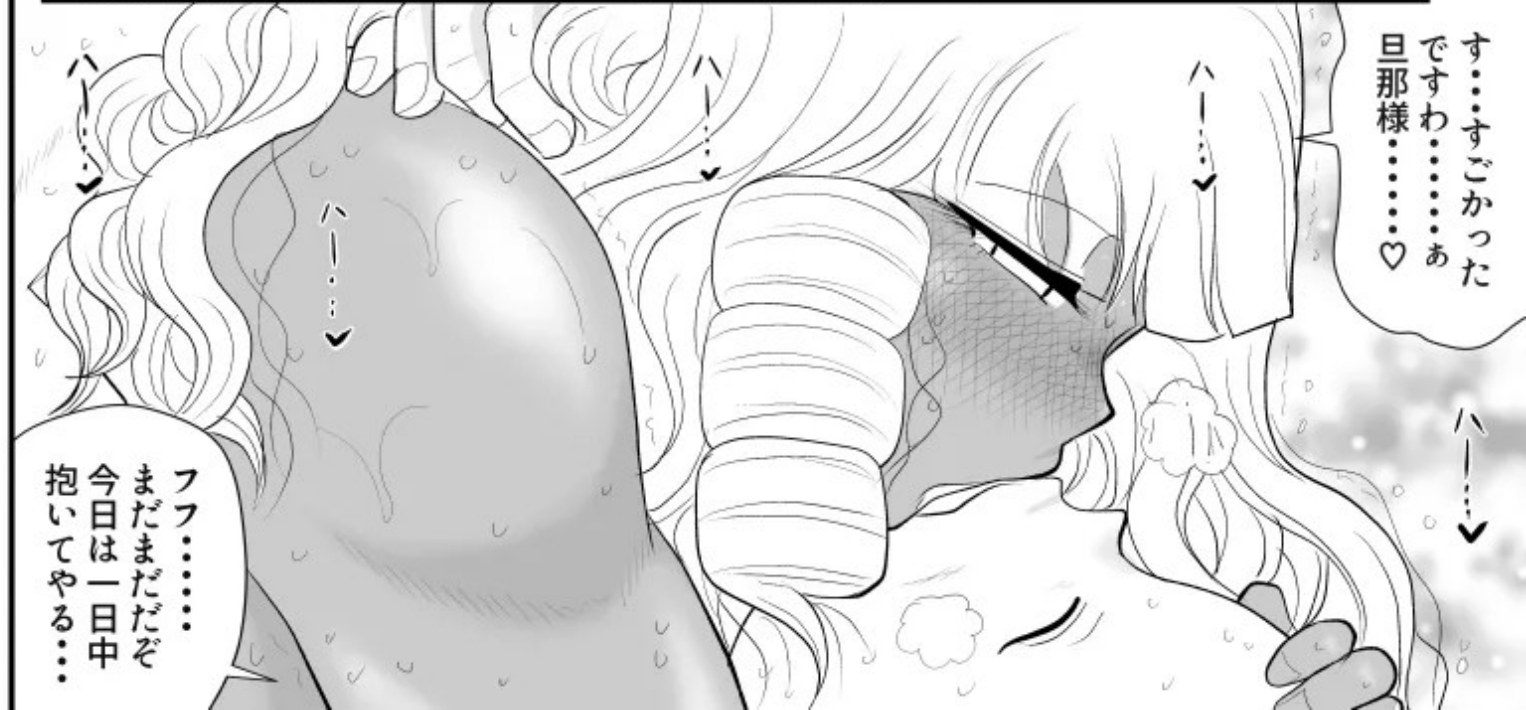
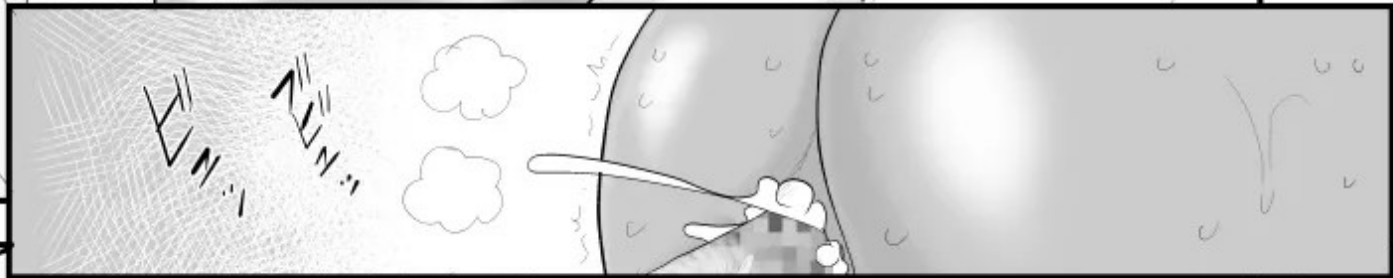
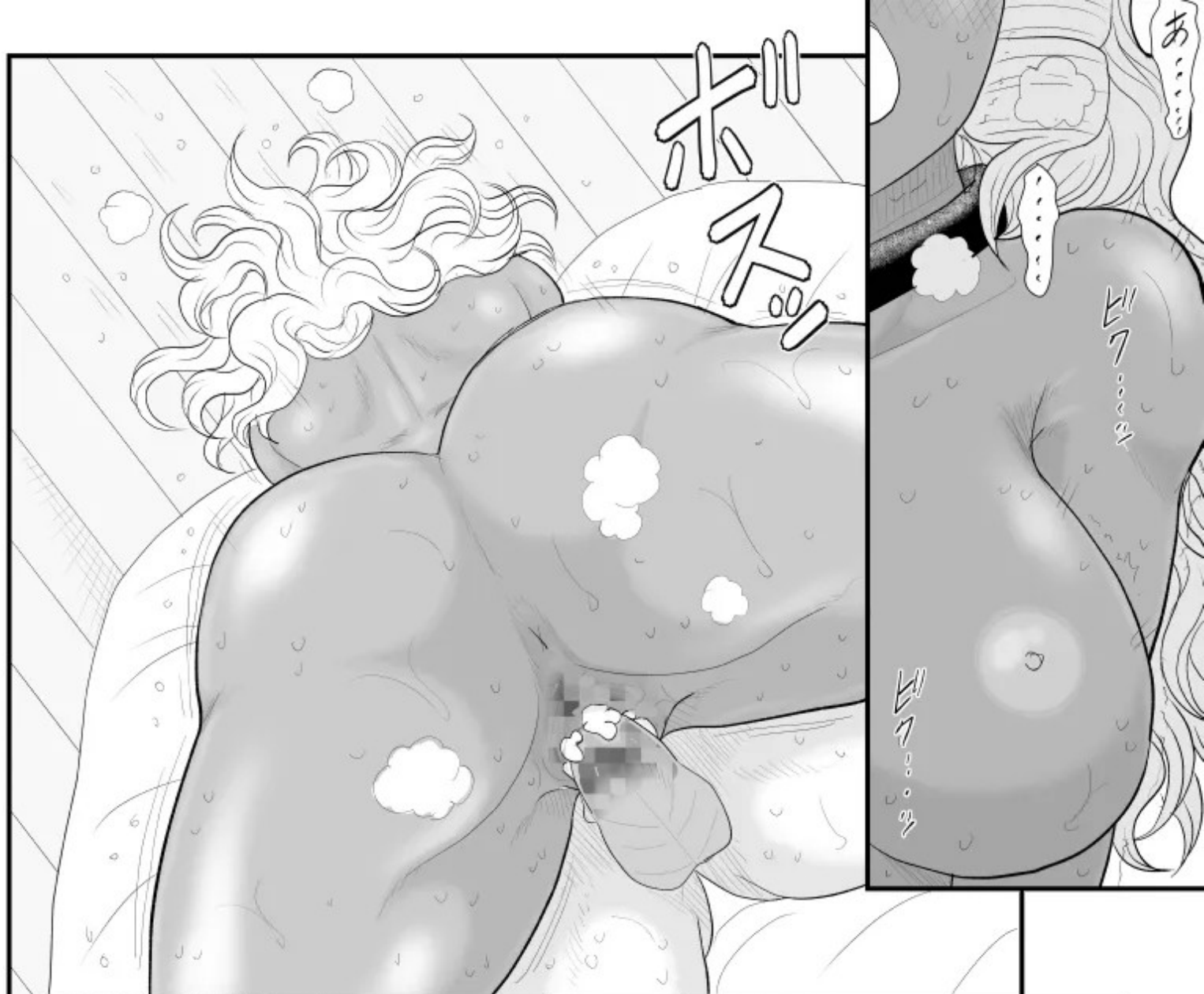








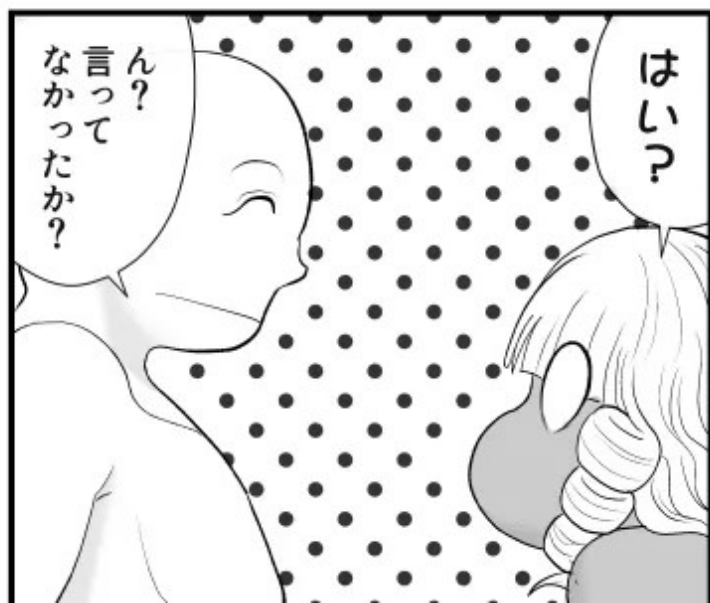
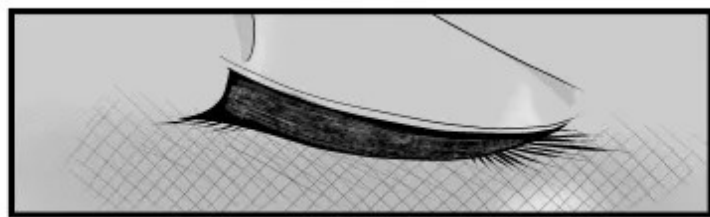




不動のマルガレットを  
腰砕けにしてくれるからな  
覚悟せいよ

あん……  
お手柔らかに……♡







一番目の妻と  
二番目の妻が  
お産で  
里帰りしておるのだ

ああ無論  
三番目だからといって  
扱いを低くする気は  
ないから安心せい

なんなら  
自己紹介がてら  
全員で楽しむー

失格ですわー!

ギャーッ!

マルガレットの  
夫の条件

「二夫多妻は×」

終



ほだされ戦士マルガレット

**FAKE庵**